

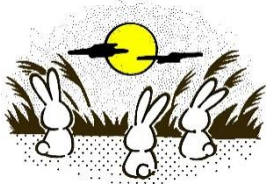


学校だより

「たぶの木」



令和5年9月
鹿児島市立武岡台小学校
児童数 242人



助け合うと自分でやる

校長 榊まゆみ

2学期が始まりました。元気いっぱいの顔、ちょっと疲れ気味の顔、いろいろな顔で登校してきた9月1日、暑い中、自分で歩いて登校してくる子供たちの姿は、**それだけで100点!**です。正門であいさつを交わし、じゃんけんをして、学校の日常が戻ってきました。

今年もまた、誰一人大きな事故やけがもなく元気に夏休みを過ごせたことが何よりうれしいです。ご家庭で地域で子供たちを見守り支えていただきありがとうございました。

始業式では、今年、高校野球で優勝した慶應義塾高校の部訓から「勉強が第一」「場の整理」「集合とあいさつ」の話をしました。また、21日の出校日に、小さな平和をたくさん作ると大きな平和につながるという話をしていたので、自分たちでできる小さな平和づくり「困ったら助け合う」「自分でできることは自分でやる」と慶應高校の話を関連付け、「困ったときは声を掛け合って助け合える」「自分でできることをできるまで頑張る」2学期にしていきたいと思いますと話しました。



児童代表として2・4・6年生の3人が、夏休みに手作りのそうめん流しをしたことなどの思い出、人見知りの自分を変え、2学期からはいろいろな人と関わりたいという目標、また、ワンストップあいさつはしていたけれど、はきはきとしたあいさつも心がけたいという決意などの発表をしました。

夏休みで一回り成長した子供たちが頼もしく見えました。

今学期から器楽部による校歌伴奏が復活し、これまでCDに合わせて1番のみ歌っていた校歌を3年ぶりに3番まで歌うことができ、また一つ、コロナ禍以前の姿が戻ってきたことにうれしさを感じる始業式となりました。



1学期末で2名転出しましたが、2学期は3名の転入を迎え、242名でのスタートです。

2学期も様々な学習や行事をとおして、これまでの自分を超越する子供たちの成長を楽しみに、教職員一丸となり、教育活動に邁進してまいります。

変わらぬご理解・ご協力をお願いいたします。